



2月 としょかんだより



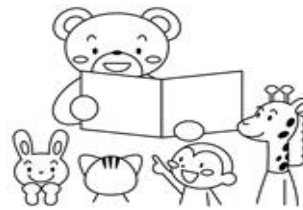
令和6年2月2日(金)
久山町立久原小学校図書館
学校司書 横山 柳子

2月3日は、節分ですね。節分にまつわる話や鬼がでてくる本がたくさんあります。本を紹介したいと思いますので、学校図書館やレスポアール図書館で、見つけて読んでみてくださいね。

6年生に「読み聞かせ」に行きました。

1月16日(火)に図書委員が「読み聞かせ」に行きました。

みんな、楽しそうに聞いてくれました。
図書委員さんも、最後の活動でしたが、
みんながさらに、本が好きになるように、
最後まで、責任をもって各自がんばりました。
みんなの読書への興味関心がさらに高まりました。



節分の由来

節分は、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪い物を追い出す日。「鬼は外、福はうち」と言いながら豆まきをします。節分という言葉には「季節を分ける」という意味があります。昔の日本では、春は一年のはじまりとされて、大切にされました。

節分(鬼)の本



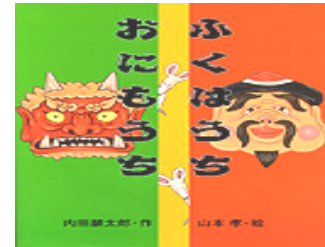
『おにたのぼうし』

せつぶんの日。どの家からも豆まきの音がして、おにたは行くところがありません。たった1軒だけ、おにたの入れる家を見つけたのですが、その家にはおなかをすかせた女の子がいました。ぼうしをかぶって食べ物を持っていったおにたに、女の子はなんと豆まきがしたいと言いだして……。



『せつぶんだ まめまきだ』

せつぶんに、なぜ豆をまくのか、どんなかざりをするのか、などが、わかりやすく書いてありますよ。



『おにのうち おにのうち』

せつぶんの夜、泣いている鬼をお父さんが家の中へ入れてしまって……。ちょっと変わった、鬼のお話です。こんなせつぶんも、楽しいかも？



『まゆとおに』

やまのむすめ、まゆは、ある日 鬼と出会いますが……。まゆを食べようとする鬼と、それに気づかず、楽しく遊ぼうとするまゆがとってもかわいくて、楽しい本です。



『おにのめん』

親元をはなれて働いているお春。ある日、大事にしていたお面が鬼のお面が変わってしまって……。親思いのお春と、まわりの人々との心あたたまる、でも最後は大笑いできるお話です。



『しまひきおに』

小さな島に、ひとりぼっちで住んでいるおに。でも人間はおにをこわがって、友だちになってくれません……。ちょっとさみしくなってしまうけど、みなさんに読んでほしい本です。